

平成24年度 流域モニタリング一斉調査

調査河川： 野田川

調査場所： 飯田線下流部 矢作橋下流100m位置

調査日時： 6月11日(月)PM1:00 ~ 2:30

調査報告書

調査主催者 新城市環境部環境課

調査団体 飛煙社

西尾 幸男

服部 光勇

1.モニタリング調査参加について、

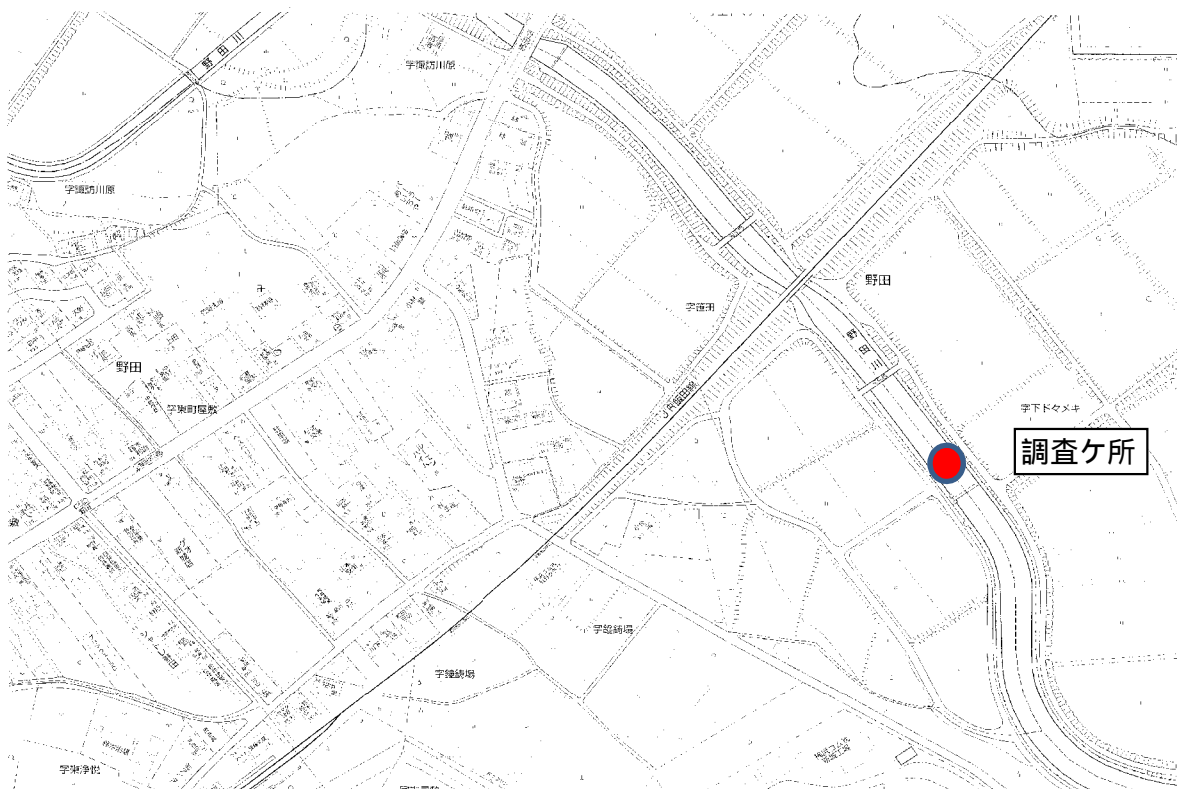
あいちの水循環再生指標にもとずき、地元の人が環境に興味もち河川調査を行い結果を環境課へ報告するのがモニタリング調査の目的であると思われる。

去年から、この調査で身近な川となり興味の対象となったが、自宅から離れているため中々遊びに行く機会もなく通りすがりに、川の様子を見る程度である。

本来この調査は、子供を加え参加するともっと効果があると思われ今後の参加方法を検討したい。

2.調査箇所、

新城市野田字下ドメキ 地区



3.水のきれいさ(平均 3.8点)について、

水のおい、水に浮いた油や泡についての評価は5で、工事による土砂流出と思われる影響で、水の色・にごりがみられ・底の感触にもヌメリを感じるため評価を3とした。

去年と違うのは、ヌメリで足が取られるという感はなかったが堆積土砂の除去、しないとは思うけど工事終了後には何らかの対策が必要と思われた。

4.水の量(平均 2.8点)について、

流量河川断面 $A=3.34\text{m}^2$

水面幅 $B=16.5\text{m}$

流速 $V= 0.05\text{m/S}$

流量 $Q= 0.18\text{m}^3/\text{S}$

去年の調査と比べて、川幅以外流速・流量が減っているのは、今年まとまった雨がなく、川全体の水量が少ないためと思われる。

水位については、堰に近い去年とあまり違いが出ないと思われる。わき水については付近に形跡がない、よって評価できず。

5.生態系(平均 3.7点)について、

生態系の様子として、カワムツ・ミズカマキリ・ヨシノボリ・モエビ等が結構生息している。

今年、外来種のアメリカザリガニの確認が出来なかった。

その他、石の下に棲む水生生物について、ヒルの確認と川虫(種類不明)の確認が出来たが、す速く動くため写真が不明瞭となり掲載は遠慮した。

水際・周辺の植物について、調査区域が田園地帯とブロックの立ち護岸ということで、周辺の植物は少ない。ただ、緩勾配河川のため水際には葦・ヨシ等が見られる。

6.水辺のようす(平均 2.7.点)について、

ゴミについて、よく見ればあるという程度で気になる程ではない。

水の透視度調査では70cm位で線が見えにくくなり、多少の濁りはみられる程度である。

去年は自然度・景観についての評価は1であったが帰る途中犬を連れた人と話をしたところ、この田園風景が好きという話を聞き評価2とした。

階段は200mに一ヶ所程度あるが、魚釣りや遊びたくなる場所が少ない。

調査票

調査票を提出する際には、調査地点のわかる地図を添付してください。

グループ名	飛煙社	調査日時	24年6月11日(月)午前10時30分		
名前	西尾 脈音	調査場所	野田川	川の幅	m
		参加人数	2人	天気	

水のきれいさ ^水 22.2° 18.9°

調査項目	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	安全できれいな水 ←————→ 利用しにくい水						
1.水の色	無色	中間	少し色がある	中間	濃い色がついている	3点	平均 3.8点
2.水のにごり	透明	中間	少しにごっている	中間	とてもにごっている	3点	
3.水のおい	においを感じない	中間	いやなおいを少し感じる	中間	いやなおいを強く感じる	5点	
4.水に浮いた油や泡	泡はない 油のまくはない	中間	泡が少しある 油のまくが少しある	中間	泡が多い 油のまくが多い	5点	
5.水の底の感しよく	心地よい	中間	ちょっとヌルヌルしている	中間	ヌルヌルして気持ちわるい	3点	
6.CODバックテスト調査 mg/l	2mg/l以下	3mg/l以下	5mg/l以下	8mg/l以下	8mg/lをこえる	4点	

水の量

調査項目	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	十分な流れがある ←————→ 流れがある ←————→ 流れがほとんどない						
1.流れのはやさ	水面に波があるような流れがある	中間	水面は波がないがはっきり流れているとわかる	中間	流れがほとんどない	3点	平均 2.8点
2.流れの変化	瀬・淵・ワンドなど多様な流れがある	中間	流れに変化がある	中間	流れに変化がない	3点	
3.わき水のようす ^{※1}	以前と変わらない水量のわき水(湧水)がある	中間	少ないけどわき水(湧水)がある	中間	わき水(湧水)がなくなった	3点	
4.川の深さ cm	60cm以上	40cm~60cm	20cm~40cm	10cm~20cm	10cm未満	3点	
5.川の流れの速さ cm/秒	60cm/秒以上	40cm/秒~60cm/秒	20cm/秒~40cm/秒	10cm/秒~20cm/秒	10cm/秒未満	2点	

備考 ※気づいたことがあれば、記入してください。

注) 水の量の評点は、河川の源流域、河口部などや、湖沼、ため池、海では使用しない。
 評点の判断基準にある「中間」は、その前後で判断に迷う場合に採用し、その評点を記入する。
 ※1: 湧水が過去に確認されている場合のみ使用。

せいたいけい
生態系

調査項目	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	生物が豊かな水環境 ← 生物がいる水環境 → 生物がほとんどいない水環境						
1.魚のようす	たくさんいる	中間	たまに見かける	中間	魚がいない	4点	平均 3.7点
2.水ぎわの植物	いろいろな植物が多くはえている	中間	植物がはえている	中間	植物はない	3点	
3.周辺の植物	木が多くはえている	中間	緑がある	中間	緑はない	3点	
4.周辺の生き物	いろいろな種類の生き物がある	中間	たまに生き物を見る	中間	生き物はない	4点	
5.外来種	いない	少ない	やや多い	多い	外来種しかない	5点	
6.水質 (生き物による水の きれいさの階級)	I	II	III	IV	何もいない	3点	

みすべ
水辺のようす

魚が虫を取るため時々飛んでいる。(時間帯)
水辺に生き物有(ヒル含)

調査項目	調査項目ごとの評点					評点	平均点	
	5	4	3	2	1			
	快適な水辺(積極的に活用したい水) ← 水辺を活用できる程度 → 不快な水辺							
1.ごみ	ごみが少ない	中間	ごみがところどころある	中間	ごみが多い	4点	平均 2.7点	
2.水辺の利用	水のまわりや中で遊びたい	中間	ながめたりさんぽをしたい	中間	近づきたくない	2点		
3.水辺への 近づきやすさ	※2 どこからでも水辺に近づける	中間	水辺に近づけるところがある	中間	近づけない	3点		
4.水辺の自然度	※3 緑が多く自然が豊か	中間	緑はある	中間	人工的な水辺	2点		
5.水辺の景観	けいかん 全体が調和していてここがよい	中間	調和していないところもある	中間	まわりの風景とうまく調和していない	2点		
ヒ ア リ ン グ 調 査	6.散歩・レジャー	※4 多くの人に毎日のように利用されている	中間	ときどき利用されている	中間	利用されていない		3点
	7.環境学習	※5 多くの人に利用されている	中間	ときどき利用されている	中間	利用されていない		2点
	8.環境保全活動	※6 多くの人が活動している	中間	ときどき活動している人がいる	中間	活動している人がいない		2点
9.透視度	※7 80cm以上	60cm~80cm	40cm~60cm	20cm~40cm	20cm以下	4点		

選択項目数

※特に重要と考える調査項目を選択

選択項目点数

点

備考 ※気づいたことがあれば、記入してください。

付近に人が居たので、南がのびたので、

注) 評点の判断基準にある「中間」は、その前後で判断に迷う場合に採用し、その評点を記入する。

※2, ※3: 相反する評価となる可能性がある。

調査票に関するお問い合わせはお住まいの市町村環境保全担当課窓口、または協議会事務局まで ©事務局:愛知県環境部水地盤環境課 ☎052-954-6220(ダイヤルイン)

「カワイツ、ヨシボリ、カワエビ等」

レジャー等は? 何人か、網を持って川に入ったこと



野田川

6月11日

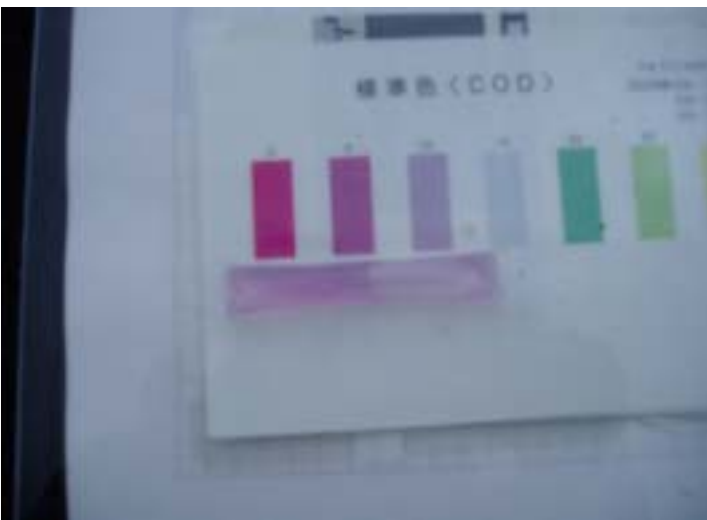
下流より

P6110174



流量観測

P6110173



CODパックテスト

P6110178



野田川

6月11日

水性生物「ヒル」

P6110175



カワムツ

ミズカマキリ

ヨシノボリ

スジエビ(モエビ)

P6110179



スジエビ(モエビ)

ミズカマキリ

ヨシノボリ

P6110180

野田川

